

徳山薬剤師会だより

令和6年
7月
第19号

発行元：(一社)徳山薬剤師会 〒745-0822 周南市孝田町7-1 TEL.0834-39-1105 FAX.0834-39-1106

令和6年能登半島地震 災害支援活動

派遣期間：令和6年1月17日（水）～21日（日）

活動場所：石川県珠洲市

代々木薬局 山本 晃之

今回は、石川県薬剤師会・日本薬剤師会からの派遣要請を受け、山口県薬剤師会からの第一班として令和6年1月17～21日のスキームで、石川県珠洲市での支援活動を行いました。珠洲市は地震による建物の倒壊と合わせて、沿岸部では津波による被害もありました。ライフラインは電気が一部通っているものの、上下水道は完全に機能しておらず、被災者は厳しい環境下での避難生活を余儀なくされている状況でした。

当派遣期間の珠洲市での支援活動は大きく分けて次の3つです。

- ・ 災害処方箋の調剤
- ・ 環境アセスメントを含めた避難所の巡回支援
- ・ 新たな避難所開設支援および衛生環境維持のアドバイス

災害処方箋の調剤は、珠洲市健康増進センター内に設置された臨時調剤所とモバイルファーマシー（災害時対応医薬品供給車両）にて、限られた備蓄医薬品の中で医師の処方意図にできるだけ添えるよう、薬学的知識をもとに代替等も行いながら実施しました。避難所の巡回支援では、健康相談や医薬品・衛生材料の供給と合わせて、二酸化炭素測定器を活用して環境アセスメントを実施しました。新たな避難所開設支援では、避難者の居住スペース、支援物資の保管庫、本部の位置など、動線も含めたプライバシーに配慮したレイアウトと合わせて、環境衛生の維持向上に関するアドバイスを実施しました。

個人的には、今回で4箇所目の災害支援となりましたが、活動中も状況は刻々と変化しますので、その時その場所で必要な事項の優先度を随時見極めながら、多職種と連携のもと、薬剤師としてできることを臨機応変に行うことが大事であると改めて痛感しました。

珠洲市の医療体制は回復しつつありますが、本当の復興には相当な時間がかかると推察します。一日でも早い復興を心より祈念致します。

